

- ・対応するF-7-1の版数と一致するか。
- ・電子申請システム上の最終版の版数と一致するか。
- ・版数を手書き修正していないか。

1版

様式 F-6-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））実施状況報告書（収支状況報告書）（平成27年度）

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究代表者の情報は、平成28年3月31日時点での情報が記載されているか。

研究

所属研究機関の
本部の所在地
所属研究機関

〒〇〇〇-〇〇〇〇
東京都〇〇区〇〇2-5-
〇〇大学・〇〇研究科・教授

実施状況報告対象年度となっているか（特に、2年度目以降の場合には、対象年度より前の年度のものを印刷していないか。）。

代表者

・部局・職名

フリガナ

〇〇 〇〇

氏 名

〇〇 〇〇

印鑑:

署名または押印されているか。

印

研究課題名

〇〇の××に関する総合的研究

交付決定額

5,460,000 円

うち既受領額累計(a)

3,510,000 円

うち支出額累計(b)

3,459,000 円

補助事業期間

平成26年度 ～ 平成29年度

差引額 (a-b)

51,000 円

費目別収支状況等

	合計 (c+d)	直接経費					間接経費 譲渡額 (d)
		物品費	旅費	人件費・謝金	その他	計 (c)	
交付決定額の 内訳	円 5,460,000	円 3,500,000	円 200,000	円 0	円 500,000	円 4,200,000	円 1,260,000
実支出額の 累計額			149,000	0	200,000	2,649,035 (35)	810,000
うち当該年度 の実支出額 (A)	1,860,000	1,300,000	100,000	0	100,000	1,500,000	360,000

・記載内容が、収支簿等と合致しているか。
・利息が含まれていないか。

	合計 (i+j)	前年度未使用 額 (e)	支払請求額 (f)	前倒し支払請 求額 (g)	受入利息(h)	計(i)	間接経費 譲渡額 (j)
当該年度の 所要額 (B)	円 1,911,000	円 351,000 (1,000)	円 1,000,000	円 200,000	円 (82)	円 1,551,000	円 000

次年度使用額
(B-A)

円
51,000

補助事業者が所属する研究機関で譲渡した当該年度の間接経費の額を記載しているか。
※実際に執行した額ではない。

備考欄

直接経費使用内訳変更承認: 平成27年12月22日

必要に応じて、「直接経費使用内訳変更承認」、「間接経費交付決定額変更承認」、「産前産後の休暇又は育児休業による中断」、「補助事業を中断し当該年度に支出実績がない場合はその中断事由及び中断期間が記載してあるか。

主要な物品明細書（一品又は一組）

物 品 名	型・性能等	数量	(円)	(円)	設置研究機関名 (納入日)
●▲■×装置	(株) ●▲■ RV-SWR	1	500,000	500,000	〇〇大学 (H26.12.12)
※複数の科研費等により共用設備を購入した場合の例					
●▲■×装置 (共用)	(株) ●▲■ RM-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (500,000)	〇〇大学 (H27.10.15)
※合算使用により物品等を購入した場合の例					
●▲■×装置 (合算)	(株) ●▲■ RM-SWR	1	31,500,000	31,500,000 (500,000)	〇〇大学 (H27.10.15)
西洋中世政治史関係図書 (30冊)	●▲■出版 他	1			

物品名:

- ・図書については1冊又は1組の価格が50万円以上の場合は必ず書名、金額を記載しているか。少額の図書を多量に購入した場合には、50万円程度を一括して、例えば「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度図書の内容が半別できるような表現を用いて記載しているか。
- ・消耗品、設備備品を問わず、該当するものは全て記載しているか。

複数の科研費等により共用設備を購入した場合 又は 合算使用により購入した場合:
物品等の総金額が50万円以上の場合に記載し、そのうち、直接経費により負担した額を()書きで記載しているか。
(例: 30万円(直接経費)+25万円(他の科研費)=55万円(総金額)の場合には記載。)

ページに飛びかかないか(全ページ揃っているか)。

(1/2)

補助事業者						
研究代表者及び研究分担者			直接経費		間接経費の 議度額	備 考
所属研究機関 ・部局・職名	氏 名	研究者番号	実支出額 の累計額	当該年度 実支出額		
〇〇大学・〇〇研究科・教授	〇 〇 〇 〇	10765432	円 1,849,035	円 1,000,000	円 210,000	(100,000)☆☆大学 (110,000)〇〇大学 変更：平成27年×月×日
〇〇大学・〇〇学部・准教授	× × × ×	20456789	250,000	200,000	90,000	・平成27年度途中で所属機関を変更した場合には、備考欄に赤字書きでそれぞれの研究機関への議度額が記載されているか。 ・変更の事実発生年月日が記載されているか。
〇〇大学・〇〇学部・助教	☆ ☆ ☆ ☆	20345678	250,000	100,000	0	・同一機関に所属する補助事業者の間接経費議度額は、1名にまとめて合計額を記載可。 ・年度途中で所属研究機関を変更した場合は、同一機関の合計額には含めない。
▲▲大学・▲▲学部・助教	▲ ▲ ▲ ▲	20876543	50,000	0	0	削除：平成27年×月×日 補助事業期間の途中で研究分担者を削除した場合には、備考欄に「削除」及び、「日本学術振興会の承認日」が記載されているか。
□□大学・□□研究所・教授	□ □ □ □	30987654	250,000	200,000	60,000	追加：平成26年×月×日 補助事業期間の途中で研究分担者を追加した場合には、備考欄に「追加」及び、「日本学術振興会の承認日」が記載されているか。
・研究代表者の情報は、平成27年3月31日時点での情報が記載されているか。 ・研究分担者の所属研究機関・部局・職名については、平成28年3月31日時点、削除時点又は分担者としての役割を完了した時点のいずれか早い時点の情報が記載されているか。			・記載内容が、収支簿等と合致しないか。 ・利息が含まれていないか。		それぞれの研究機関に議度された平成27年度の間接経費が正しく記載されているか。 ※実際に執行した額ではない。	
計（小計）	5 名		2,649,035 円	1,500,000 円	360,000 円	
			課題番号	26234567	機関番号	12345

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）

2. 研究機関名 ○○大学

4. 補助事業期間 平成2

実施状況報告対象年度となっているか。
(特に、2年度目以降の場合には、対象年度より前の年度のものを印刷していないか。)

6. 研究課題名 ○○の××に関する総合的研究

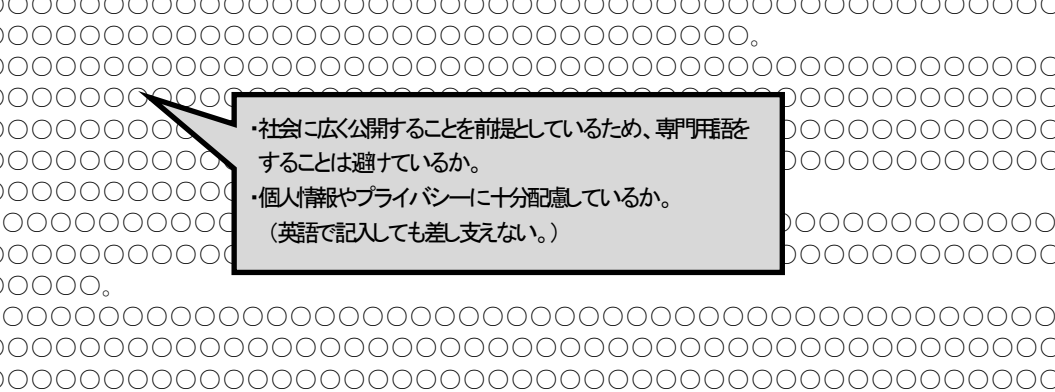
研究者番号							研究代表者名	所属部局名	職名
1	0	7	6	5	4	3 2	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇研究科	教授

研究者番号								研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
2	0	8	7	6	5	4	3	▲▲ ▲▲ ▲▲ ▲▲	▲▲大学・▲▲学部	助教
3	0	9	8	7	6	5	4	□□ □□ □□ □□	□□大学・□□研究所	教授

「研究分担者」:
記載不可である連携研究者、研究協力者を
記載してよいのか。

- ・研究代表者の情報は、平成28年3月31日時点での正しい情報が記載されているか。
- ・研究分担者の所属研究機関・部局・職名については、平成28年3月31日時点、削除時点又は分担者としての役割を完了した時点のいずれか早い時点の情報が記載されているか。
- ・部局・職名については「その他」で登録している場合であっても実際の部局名職名を記入しているか

- ・研究代表者の情報も、平成28年3月31日時点での正しい情報が記載されているか。
- ・研究分担者の所属研究機関・部局・職名については、平成28年3月31日時点、削除時点又は分担者としての役を終了した時点のいずれか早い時点の情報が記載されているか。
- ・部局・職名については「その他」で登録している場合であっても実際の部局名職名を記入しているか



・社会に広く公開することを前提としているため、専門用語
することは避けているか。

・個人情報やプライバシーに十分配慮しているか。
(英語で記入しても差し支えない。)

ページに飛びがけないか(全ページ揃っているか。)

10. キーワード

- (1) ○○タンパク質 (2) ○○分離法 (3) ○○分析 (4) ○○受容体
(5) (6) (8)

「キーワード」:

- ・1つ以上記載されているか。

11. 現在までの進捗状況

(区分) (1) 当初の計画以上に進展している。

(理由)

[illegible]

・社会に広く公開することを前提としているため、専門用語を多用することは避けているか。
・個人情報やプライバシーに十分配慮しているか。
(英語で記載しても差し支えない。)

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

・社会に広く公開することを前提としているため、専門用語を多用することは避けているか。

- ・社会に広く公開することを前提としているため、専門用語を多用することは避けているか。
- ・個人情報やプライバシーに十分配慮しているか。

(英語で記載しても差し支えない。)

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

様式-6-1「収支状況報告書」の「次年度使用額(B-A)」が0円より大きい金額となっている場合には、本欄に、「当年度助成金が生じた状況、及び、翌年度分として請求した助成金と合わせた使用計画について」記載があるか。
(なお、「次年度使用額(B-A)」が0円以下の場合、空欄となる。)

様式「6-1「収支状況報告書」の「次年度使用額(B-A)」が0円より大きい金額
となっている場合には、本欄に、「当該助成金が生じた状況、及び、翌年度分として
請求した助成金と合わせた使用計画について」記載があるか。
(なお、「次年度使用額(B-A)」が0円以下の場合は、空欄となる。)

・社会に広く公開することを前提としているため、専門用語を多用することは避けているか。
・個人情報やプライバシーに十分配慮しているか。
(英語で記載しても差し支えない。)

[雑誌論文] 計(2)件/うち査読付論文 計(2)件/うち国際共著論文 計(2)件	
著者名	○○ ○○ ○○ ○○, ○○ ○○, ○○ ○○, ○ ○○○の研究 ○ ○○, (○○ ○○, ○○ ○○, ・○○ ○○○al
誌名	査読の有無
JOU	有
10.	1巻 2 0 1 5 19~32 該当する
I (デジタルオブジェクト識別子)	
T>2.0TX:2-2	
オープンアクセス	
☒ オープンアクセスとしている (また、その予定である) ☐ オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

著 者 名		論 文 標 題【掲載確定】				
〇〇 〇〇、〇〇 〇〇		〇〇〇の研究				
雑 誌 名		査読の有無				
〇〇ジャーナル		有	VOL13	2016	頁	該当する
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし		「掲載論文のDOI」: 該当がない場合には「なし」と記載されているか。				
☒ オープンアクセスとしている（また、その予定である） ☐ オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

【学会発表】計（１）件／うち招待講演 計（１）件／うち国際学会 計（１）件	
発表者名	発表標題【発表確定】
○○ ○○	○○○の研究の発展的展開
「学会発表」: ・本研究課題の成果を発表したものに限る。 ・発表予定の場合は、発表することが確定しているものに限る。	【発表確定】の表示: 発表が確定していて、発表年月日が2016年6月以降の場合には、「発表確定」と記載されているか
応用○○学会（招待講演）（国際学会）	発表年月日 2016年07月10日～2016年07月13日 発表場所 ○○国際会館（東京都千代田区）

[illegible]

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出 願〕 計 (1) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
〇〇の〇〇技術	〇〇 〇〇	〇〇大学	特許、特願2015-217666	2015年6月1日	国内

平成27年度中に出願したもののみ記載しているか。

〔取 得〕 計 (1) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
〇〇技術	〇〇 〇〇			2015年9月1日	国内
				出願年月日	
				2013年9月1日	

補助事業期間中に出願し、平成27年度中に取得したもののみ記載しているか。補助事業開始年度より前に出願したものは対象外。

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕計 (1) 件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
〇〇「開催年月日」:平成27年度中に開催したものを記載しているか。	2015年7月10日 ~2015年7月13日	〇〇国際会館 (東京都千代田区)

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: 国際共同研究である

共同研究相手国	相手方研究機関			
アメリカ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他2機関
ドイツ	〇〇大学	〇〇大学	〇〇研究所	他2機関
フランス	〇〇大学	〇〇大学	—	—
ロシア	〇〇大学	—	—	—
中国	〇〇大学	—	—	—
他2か国				

17. 備考

〇〇〇〇研究室ホームページ

<http://monnbudaigaku.com/tokyo/kakenhi/seika>